

JGA 研修 「佐賀陶磁器研修」

～磁器のふるさと有田と藩窯大川内山、唐津焼～2泊3日で完璧マスター！

研修終了のご報告

JGA 第四支部運営委員会

JGA 正会員の皆様

12月3日（金）～5日（日）の2泊3日の「佐賀陶磁器研修」が無事終了のご報告を致します。今回の研修には北海道から鹿児島まで全国から総勢28名（正会員23名、非会員5名、委員2名）（内訳：関東14名、関西8名、北海道1名、九州5名）の参加者が博多駅前的大型バス駐車場に集合、1日目スタートしました。



皆さんの“3日間で佐賀の陶磁器を完璧マスターしよう！”の意気込みをひしひしと感じた3日間でした。講師の相田文子さんの内容豊かな熱いトークに魅了されて、また訪問各地が厳選された素晴らしい箇所ばかりで、皆さん沢山の刺激を受けてご満足な様子でした。

1日目は博多駅から一路有田へ、昼前に有田の「保名」で陶箱弁当に舌鼓をうち、その豪華な有田焼の弁当箱に感激、その後は九州陶磁文化館、柿右衛門窯、源右衛門窯、アリタセラを訪問して宿泊は嬉野温泉和楽園。お茶風呂、お茶しゃぶしゃぶを楽しみ疲れも飛んでぐっすり就寝。2日目は有田ポーセリンパークの再現ツヴィンガー宮殿の散策に始まり、泉山陶石場、有田まちなかガイドさんの案内でウォーキングツアー（深川製磁、香蘭社、トンバイ塀、陶山神社など）2H、ギャラリー有田で好みの有田焼カップを選んでランチを楽しみ、チャイナオンザパークでパリ万博金賞の大きな壺に見入り、秘窯の里大川内山では畑萬陶苑他自由散策を楽しみ、唐津のオーシャンビューのホテル泊。3日目は唐津市内を唐津よかばいガイドさんの案内で中里太郎右衛門陶房、御茶碗窯記念館、中野陶痴苑を巡り、最後の鏡山窯では陶工がお茶碗の作り方を土の段階から丁寧に説明して工房を見せて下さり皆さん納得しつつ、全行程が終了。鏡山窯から無人駅の虹ノ松原駅へ戻る道すがら、研修中の交流でお互い仲良くなって別れを惜しむ様子が見られました。



コロナ禍で9月予定が延び延びになっていた企画でしたが、12月にやっと実施できて、熱意溢れる経験豊かな相田講師の奮闘のおかげで充実した3日間の研修となりました。

以上、ご報告いたします。第四支部運営委員会（理事：内山真弓、講師・委員：相田文子）